⑸　手続における交渉の有無　無。
⑹　契約書の作成の要否　要。
⑺　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無　無。
⑻　技術提案書のヒアリングは必要に応じて行う。
⑼　関連情報を入手するための照会窓口　上記４⑴と同じ。
⑽　一般競争参加資格を有していない者の参加　上記２⑶に掲げる一般競争参加資格を有していない者も上記４⑶により申請書、資料及び技術提案書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
⑾　詳細は入札説明書による。なお、入札説明書等で当該調達に関する環境上の条件が定められている場合は、十分理解した上で応札すること。

6　Summary
⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Izumi Yoshinori, Director of Department of Financial Affairs, National Institutes for Quantum Science and Technology.
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Construction of quantum scalpel building
⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification : 5 : 00 PM, 20, May, 2022
⑸　Time-limit for the submission of tenders : 2 : 00 PM, 29, June, 2022 (tenders submitted by mail : 5 : 00 PM, 28, June, 2022)
⑹　Contact point for tender documentation : Accounting Section, National Institutes for Quantum Science and Technology, 4―9―1 Anagawa, Inage-ku, Chiba-shi Japan 263―8555 (TEL 043―206―6262,
E-mail : nyuusatsu_qst@qst.go.jp)
⑺　Please be noted that if it is indicated that environmental conditions relating to the procurement are laid down in its tender documents.

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
令和４年４月20日
（契約責任者）
西日本高速道路株式会社関西支社
支社長　永田　順宏

◎調達機関番号　419　◎所在地番号　27

○第16号

1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　第二神明道路　永井谷ジャンクション高架橋他３橋（鋼・ＰＣ上部工）工事（不落札協議対象）
⑶　工事場所　自）兵庫県神戸市西区伊川谷町
至）兵庫県神戸市西区櫨谷町
⑷　工事内容　本工事は、第二神明道路における永井谷ジャンクション高架橋、永井谷ジャンクションＡランプ橋、永井谷ジャンクションＢランプ橋、井吹環状線跨道橋の上部工を施工する工事である。
⑸　工事概算数量
永井谷ジャンクション高架橋
橋長427.5m、鋼重2.3千ｔ、鋼製橋脚６基
永井谷ジャンクションＡランプ橋
橋長472.8m、鋼重1.2千ｔ、橋面積1.3千㎡
永井谷ジャンクションＢランプ橋
橋長560.5m、鋼重1.6千ｔ、鋼製橋脚１基、橋面積0.8千㎡
井吹環状線跨道橋
橋長31.2m、橋面積0.3千㎡
⑹　工期　契約締結日の翌日から1020日間
⑺　使用する主要な資機材
鋼構造物の製作　約7.5千ｔ
コンクリート　約10,000㎥
鉄筋　約500ｔ
ＰＣ鋼材　約120ｔ
⑻　本工事は資料の提出及び入札等を電子入札システムで行う電子入札対象工事である。なお、電子入札によりがたい者は、契約責任者に届出を行い、紙入札方式によることができる。
⑼　本工事は、「企業の基礎的な技術力」及び「企業の高度な技術力」として入札説明書に参考として示した図面及び仕様書（以下「設計図書」という。）又はそのうちあらかじめ指定する部分（以下「標準案」という。）に係る具体的な施工計画その他の提案（以下「技術提案」という。）について記述した確認資料の提出を求め、入札価格とその他の技術的要素を総合的に評価した結果、西日本高速道路株式会社にとって最も有利な入札者を落札者とする総合評価落札方式の工事である。
⑽　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。
⑾　本工事は、すべての入札参加者から単価表の提出を求める工事である。
⑿　紙入札方式の場合⑾の単価表は原則として電磁的記録媒体（ＣＤ―Ｒ）で提出するものとする。ただし、電磁的記録媒体での提出ができない場合は、紙の単価表を提出するものとする。
⒀　本工事は、総価単価契約の対象工事である。本工事では、受発注者間の双務性の向上とともに、変更契約等における協議の円滑化を図るため、落札決定から契約締結までの間に発注者及び落札者が協議を行って、総価契約の内訳として項目ごとの金額（以下「単価」という。）を合意することとする。
総価単価契約の実施にあたっては、単価を個別に合意する方式（以下「単価個別合意方式」という。）によることとするが、落札者が希望した場合及び協議開始から14日以内に単価個別合意方式による単価合意が成立しなかった場合は、単価を包括的に合意する方式（以下「単価包括合意方式」という。）により行うものとする。
⒁　本工事は「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事積算基準の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終設計変更時点で設計変更する試行工事である。
営繕費　労働者の送迎費、宿泊費、借上費（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る）
労務管理費　募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
⒂　本工事は不落札協議の対象工事であり、落札者がいないとき又は再度の入札、不落札後の随意契約に付しても落札者がいないときに、当該入札手続が終了した旨を明らかにした上で、入札参加者に対して協議を要請する場合がある。
不落札協議は、不落札となった工事の単価、歩掛り、施工方法その他の技術的事項について、入札時において提出された単価表その他会社が求める資料に基づき会社・入札参加者の双方が確認するものである。
⒃　本工事は、建設業法第26条第３項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（特例監理技術者）の配置は認めない。

2　競争参加資格　当該工事に係る競争に参加する者に必要な資格を有する者は、次に掲げる条件をすべて満足し、かつ、契約責任者による当該工事に係る競争参加資格確認の結果、資格があると認められた者とする。
⑴　西日本高速道路株式会社契約規程実施細則（平成17年細則第７号）第６条の規定に該当しない者であること。
⑵　開札時に、下記の条件を満たす者又は特定建設工事共同企業体とする。
①　単体で申請する場合　下記の㋐及び㋑の条件を満たす者とする。
㋐　開札時に、令和３・４年度西日本高速道路株式会社工事一般競争（指名競争）参加資格のうち「鋼橋上部工工事」の資格を有し（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、西日本高速道路株式会社が別に定める手続きに基づく工事一般競争（指名競争）参加資格の再認定を受けていること。）、かつ、当該資格の認定の際に算定された客観的事項に係る点数が1,300点以上である者（上記の再認定を受けた者にあっては、当該再認定の際に、客観的事項に係る点数が1,300点以上であること。）。